

里親ってなあに？

子どもはどの子も無垢でかわいくって、周囲にたくさん元氣と笑顔を運んできてくれます。そんな子どもたちは周囲からの愛情をいっぱい受けて健やかに成長できることを望んでこの世に誕生してきているんですよ。

でも現実には、家庭のさまざまな事情によって親と暮らせない子どもがたくさんいます。こうした子どもたちを、家族に代わって深い愛情と理解をもって、施設ではなく、家庭的な環境の中で育ててくださる方を「里親」といいます。

10月は里親月間です



里親には、色々な種類があります。

- 養育里親…家庭に代わって一定期間、里親さんの家庭で育ててくださる方
 - 養子縁組を前提として育ててくださる方
 - 親族里親…親が養育できない事情があって、子どもの三親等内親族で養育してくださる方
 - 専門里親…虐待などで心身に傷ついた子どもに対し、経験と専門知識を生かし養育してくださる方
 - 週末里親…児童養護施設等で生活する子どもを週末や夏休みなどに家庭で過ごさせてくれる方
- (一部、要件や研修が必要な場合もあります。)

養育里親 16年目 瀬見さん



養育里親をはじめたきっかけは？

あるきっかけでAくんを知り合い、何か力になりたいと思っていたときに、学校を通じてこども相談センターから養育里親事業を教えてくださいました。

以降15年余の間に18人の子さんをお預かりし、たくさん思い出ができました。今ではAくんも立派に社会で活躍。私を支え励ましてくれる大切な宝物です。

大切なことは？

あたりまえのことですが、1人1人に特性があることを理解してあげること。そして、個性や生い立ちをしっかり受け止めてあげることです。

また、家族とのコミュニケーションをとることが大切です。自分の思いをきちんと伝えることで、家族からも解

決策を提案してくれるようになります。

あとは、気負わず自然体でいることです。

例えば何気ない食事の支度のときの、ご飯の炊ける匂いやおかずを作る音、そして、体と心を満たしてくれるものができあがっていく過程を感じることは、子どもにとっても大人にとっても、かけがえのない時間になると実感しています。

これからも、今日のご飯は何にしようかなあと、うれしい悩みを楽しみたいと思います。

よかったことは？

互いに成長していることを実感できるときや、私自身が今までは考えも及ばなかったことに気づくことができるようになったことです。

そして何より、成長した子どもたちが自分の人生を精一杯生きてくれているのが一番うれしいです。

里親さん募集中

ご希望頂ける方は、大阪市こども相談センター ☎06-4301-3100
もしくは、(区)保健福祉課(子育て支援室) ☎06-6682-9878 まで。
子育てに悩んでおられる方のご相談もお待ちしています。

里親さん体験記

週末里親 16年目 長野さん

週末里親をはじめたきっかけは？

里親について母が、「大阪市こども相談センター」へ相談したことがきっかけで、家族で里親をはじめました。

当時は両親、妹と4人で生活していましたが、家族で週末里親をすることに決めて、父は不安があったようでした。でも、実際にBくんが来てみると、不安よりもかわいらしさが勝り、父はBくんが来るのを心待ちにするようになっていました。

大変だったことは？

週末に我が家に来ているときに、体調を崩したときです。小さい頃は、体調急変時の対応に戸惑いしましたが、施設に連絡すると、すぐに対応して頂けたので安心できました。

大切なことは？

特別なことをしようと意気込まず、Bくんと一緒に楽しく過ごすことを大切にできま

た。学校行事にも参加していました。1歳10か月だったBくんも高校2年生となり、私自身も結婚・出産を経て家族の形は変わっていきませんが、Bくんの成長を見守る存在としては変わっていません。これからも、Bくんを見守り、支え続ける1人になればと思います。



よかったことは？

週末里親は大変だと思うかもしれませんが、特別なことは必要ありません。毎日の何気ないこと・食事・買い物・お風呂など、生活のすべてが子どもにとって貴重な経験になります。

私自身も、Bくんと出会わなければできなかつた、たくさん経験させてもらい、楽しみが増えました。皆さんに週末里親事業を知って頂き、迎え入れてくださる方が1人でも増えて、子どもたちが笑顔になればいいと思います。